

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	ホスピタリティ ツーリズム専門学校
設置者名	学校法人トラベルジャーナル学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務 専門課程	観光科 観光コース	夜・通信	1,110 時間	80×2=160 時間	
	観光科 クルーズコース	夜・通信	1,050 時間	80×2=160 時間	
	ホテル科 ホテルコース	夜・通信	870 時間	80×2=160 時間	
	ホテル科 クルーズコース	夜・通信	810 時間	80×2=160 時間	
	テーマパーク科	夜・通信	1,020 時間	80×2=160 時間	
	総合英語科 英語コース	夜・通信	0 時間	80×2=160 時間	※
	総合英語科 クルーズコース	夜・通信	360 時間	80×2=160 時間	
	エアライン科 キャビンアテンダントコース	夜・通信	540 時間	80×2=160 時間	
	エアライン科 グランドスタッフコース	夜・通信	540 時間	80×2=160 時間	
	エアライン科 エアポートオペレーションコース	夜・通信	1,020 時間	80×2=160 時間	
	鉄道科	夜・通信	840 時間	80×2=160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HP の情報公開にて公表資料として公開。
(掲載：<https://trajal.jp/>)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 総合英語科英語コース

(困難である理由)

「総合英語科英語コース」は、英語コミュニケーションの基礎力を養成し、グローバルな社会で活躍できる学生を育成する学科である。こうした学科特性から、実務教員の配置は困難であるが、英語を母国語とし講師経験豊富なネイティブ講師や海外就業経験のある国際教養豊かな講師陣により、学科に沿った専門的な教育を実施している。

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	ホスピタリティ ツーリズム専門学校
設置者名	学校法人トラベルジャーナル学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPの情報公開にて公表資料として公開。 (掲載： https://trajal.jp/)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員 (2022年4月1日～)	2023年6月1日～ 2025年5月31日	組織運営体制へ チェック機能
非常勤	株式会社役員 (2015年6月1日～)	2023年6月1日～ 2025年5月31日	組織運営体制へ チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ホスピタリティ ツーリズム専門学校
設置者名	学校法人トラベルジャーナル学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>〈作成について〉 カリキュラム・授業計画(シラバス)の作成および評価までの流れについて (1) 該当業界のトレンド、ニーズを把握した上で教育コンセプトを構築し、カリキュラムを作成する。 (2) 「学ぶ目的」と「具体的な到達目標」を設定し、「評価観」の共通認識を行う。 (3) 到達目標を設定し、評価方法を決定する。 (4) 到達目標と評価方法をリンクさせ、授業計画書(シラバス)を作成する。 (5) 試験を作成し、実施する。 (6) 学期終了後、試験結果と評価基準を照合し評価を出す。</p> <p>〈時期について〉 授業計画書の公表は、前期3月、後期8月の予定。</p>	
授業計画書の公表方法	HPの情報公開にて公表資料として公開。 (掲載： https://trajal.jp/)
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

- (1) 授業計画書(シラバス)に評価方法、評価基準を記載している。
- (2) 評価方法は実技試験、筆記試験、その他(課題等)により行う。
- (3) 評価はA、B、C、D、Rの5種類。評価基準は基本、80点以上でA評価、70点以上でB評価、60点以上でC評価となり、認定として単位を与える。59点以下または予め設定された目標レベルを下回る場合や試験を受験しなかった場合はD評価となり、不認定として単位を与えない。
またR評価とは、成績評価外の行事・救済措置の再学習などの認定や早期内定実習で成績評価を受けることができない場合の評価基準である。
評価対象の課題提出などにより、包括的に評価する。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

<成績の客観的指数について>

- (1) GPAにより客観的な指標を設定しており、算出方法は(2)の通りである。
- (2) 5種類の評価のポイントは、A=3、B=2、C=1、D=0、R=1もしくはR=2とし、合算したものがGP合計値となる。そのGP合計値を履修した科目数で割ったものがGPA値となる。
※GPAは学期ごとに算出し、全体の成績評価を行う。
※R評価については、成績評価外の行事・救済措置の再学習などの認定は1ポイント、早期内定実習は2ポイントとして換算する。

<成績評価の使用について>

算出した成績評価は前期10月・後期3月に、各学生本人に通知する。
GPA算出後は、成績下位者に対し再学習を実施する。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

HPの情報公開にて公表資料として公開。
(掲載：<https://trajal.jp/>)

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定について

以下の①～③すべての基準を満たし、2年次末の卒業判定会議で卒業の承認が必要。

- ① 出席した授業時間数が2年次の総授業時間数の80%以上
- ② 修得した単位数が2年次の総単位数の80%以上
- ③ 所定の学費を指定期日までに完納していること

卒業の認定に関する
方針の公表方法

HPの情報公開にて公表資料として公開。
(掲載：<https://trajal.jp/>)

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	ホスピタリティ ツーリズム専門学校
設置者名	学校法人トラベルジャーナル学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HP の情報公開にて公表資料として公開。 (掲載 : https://trajal.jp/)
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	観光科 観光コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1397 単位時間 / 単位	1,440 単位時間 / 単位		120 単位時間 / 単位		120 単位時間 / 単位
			1,680 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
観光科の総定員 80人		31人	4人	3人	0人	3人	

※教員数は、観光コース、クルーズコースの合計数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 様式2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 （概要） 様式2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 （概要） 様式2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照

学修支援等
(概要) 一人の学生に対し、クラス担任、就職担当スタッフ、バディティーチャーの3人がサポートするトリプル支援システムを導入し、多面的なサポートを行っている。定期的な個人面談、国家資格キャリアコンサルタントを保有する教員による進路指導、また独自の留学プログラムを設定するなど、幅広い観点から学生を指導し、学習・就職を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
23人 (100%)	1人 (4.3%)	19人 (82.6%)	3人 (13.0%)
(主な就職、業界等) 京成トラベルサービス(株)、西鉄旅行(株)、ジェイアール東海パッセンジャーズ、(株)ツーリストエクスパーツ、株式会社 JR 東日本びゅうツーリズム&セールス等			
(就職指導内容) 就職対策授業、エントリーシート添削、校内企業説明会の実施、面接練習、企業実習			
(主な学修成果(資格・検定等)) 普通救命講習、みんなの外国語検定、国内旅程管理主任者			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
46人	3人	6.5%
(中途退学の主な理由) 精神的な理由、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による個人面談を年2~3回実施。また、2週間ごとに全学生の出席率の状況を社内に開示し、出席率の悪い学生を担当会議で共有するとともに、担任・バディティーチャー・就職担当の三位一体のサポートを徹底し、原因や不安事項の情報を面談により速やかにキャッチしフォローに努めている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	観光科 クルーズコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1397 <u>単位時間</u> / 単位	1,440 <u>単位時間</u> /単位	単位時間 /単位	120 <u>単位時間</u> /単位	単位時間 /単位	120 <u>単位時間</u> /単位
			1,680 <u>単位時間</u> / 単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
観光科の総定員 80人	1人	0人	3人	0人	3人

※教員数は、観光コース、クルーズコースの合計数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 様式2号の3【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 （概要） 様式2号の3【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 （概要） 様式2号の3【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等 （概要） 一人の学生に対し、クラス担任、就職担当スタッフ、バディーティーチャーの3人がサポートするトリプル支援システムを導入し、多面的なサポートを行っている。定期的な個人面談、国家資格キャリアコンサルタントを保有する教員による進路指導、また独自の留学プログラムを設定するなど、幅広い観点から学生を指導し、学習・就職を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2人 (100%)	0人 (0%)	2人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） (株)オーシャンホテルシステムズ、(株)阪急トラベルサポート			
（就職指導内容） 就職対策授業、エントリーシート添削、校内企業説明会の実施、面接練習、企業実習			
（主な学修成果（資格・検定等）） 普通救命講習、みんなの外国語検定、国内旅程管理主任者			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による個人面談を年4回実施。また、2週間ごとに全学生の出席率の状況を社内に開示し、出席率の悪い学生を担当会議で共有するとともに、担任・バディーターチャー・就職担当の三位一体のサポートを徹底し、原因や不安事項の情報を面談により速やかにキャッチしフォローに努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	ホテル科 ホテルコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1397 単位時間 / 単位	930 単位時間 / 単位	300 単位時間 / 単位	240 単位時間 / 単位	210 単位時間 / 単位	
		1,680 単位時間 / 単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
ホテル科の総定員 120人	86人	4人	3人	2人	5人		

※教員数は、ホテルコース、クルーズコースの合計数

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) (概要) 様式2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 (概要) 様式2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 (概要) 様式2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等 (概要) 一人の学生に対し、クラス担任、就職担当スタッフ、バディーターチャーの3人がサポートするトリプル支援システムを導入し、多面的なサポートを行っている。定期的な個人面談、国家資格キャリアコンサルタントを保有する教員による進路指導、また独自の留学プログラムを設定するなど、幅広い観点から学生を指導し、学習・就職を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
33人 (100%)	0人 (0%)	29人 (87.9%)	4人 (12.1%)
（主な就職、業界等） ザ・リッツ・カールトン日光、ミリアルリゾートホテルズ、森ビルホスピタリティコーポレーション、コンラッド東京、ヒルトン東京、パレスホテル等			
（就職指導内容） 就職対策授業、エントリーシート添削、校内企業説明会の実施、面接練習、企業実習			
（主な学修成果（資格・検定等）） 普通救命講習、サービス介助士、みんなの外国語検定、TOEIC、ホテルビジネス実務検定B2級、マナー・プロトコル検定3級、全国手話検定4級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
87人	5人	5.7%
（中途退学の主な理由） 進路変更、体調不良		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任による個人面談を年2～3回実施。また、2週間ごとに全学生の出席率の状況を社内に開示し、出席率の悪い学生を担当会議で共有するとともに、担任・バイディーターティーチャー・就職担当の三位一体のサポートを徹底し、原因や不安事項の情報を面談により速やかにキャッチしフォローに努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	ホテル科 クルーズコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1397 <u>単位時間</u> / 単位	1,050 <u>単位時間</u> /単位	60 <u>単位時間</u> /単位	240 <u>単位時間</u> /単位	単位時間 /単位	330 <u>単位時間</u> /単位
			1,680 <u>単位時間</u> / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
ホテル科の総定員 120人		7人	0人	3人	2人	5人	

※教員数は、ホテルコース、クルーズコースの合計数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

(概要) 様式2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 一人の学生に対し、クラス担任、就職担当スタッフ、バディティーチャーの3人がサポートするトリプル支援システムを導入し、多面的なサポートを行っている。定期的な個人面談、国家資格キャリアコンサルタントを保有する教員による進路指導、また独自の留学プログラムを設定するなど、幅広い観点から学生を指導し、学習・就職を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	3人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル、ホテルインディゴ箱根強羅、帝産観光バス(株)			
(就職指導内容) 就職対策授業、エントリーシート添削、校内企業説明会の実施、面接練習、企業実習			
(主な学修成果(資格・検定等)) 普通救命講習、サービス介助士、みんなの外国語検定、TOEIC、マナー・プロトコール検定3級、全国手話検定4級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		

(中退防止・中退者支援のための取組)
 クラス担任による個人面談を年 2～3 回実施。また、2 週間ごとに全学生の出席率の状況を社内に開示し、出席率の悪い学生を担当会議で共有するとともに、担任・バディーターチャー・就職担当の三位一体のサポートを徹底し、原因や不安事項の情報を面談により速やかにキャッチしフォローに努めている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	テーマパーク科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1397 単位時間 / 単位	960 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	120 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	600 単位時間 / 単位
			1,680 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		95 人	0 人	4 人	5 人	9 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式 2 号の 3 【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式 2 号の 3 【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式 2 号の 3 【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
(概要) 一人の学生に対し、クラス担任、就職担当スタッフ、バディーターチャーの 3 人がサポートするトリプル支援システムを導入し、多面的なサポートを行っている。定期的な個人面談、国家資格キャリアコンサルタントを保有する教員による進路指導、また独自の留学プログラムを設定するなど、幅広い観点から学生を指導し、学習・就職を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
46 人 (100%)	0 人 (0%)	42 人 (91.3%)	4 人 (8.7%)

(主な就職、業界等) ユー・エス・ジェイ、(株)サンリオエンターテイメント、(株)オリエンタルランド、(株)富士急ハイランド、キッザニア東京、(株)CA セガジョイポリス株式会社 東京ジョイポリス等
(就職指導内容) 就職対策授業、エントリーシート添削、校内企業説明会の実施、面接練習、企業実習
(主な学修成果(資格・検定等)) みんなの外国語検定、サービス接客検定、全国手話検定、メンタルヘルスマネジメント検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
89人	2人	2.2%
(中途退学の主な理由) 学習意欲低下、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による個人面談を年2~3回実施。また、2週間ごとに全学生の出席率の状況を社内に開示し、出席率の悪い学生を担当会議で共有するとともに、担任・パデューティーチャー・就職担当の三位一体のサポートを徹底し、原因や不安事項の情報を面談により速やかにキャッチしフォローに努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	総合英語科 英語コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1397 単位時間 / 単位	1,620 単位時間 / 単位		60 単位時間 / 単位		
			1,680 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
総合英語科の総定員 40人		28人	0人	3人	12人	15人	

※教員数は、英語コース、クルーズコースの合計数

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法

(概要) 様式2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 一人の学生に対し、クラス担任、就職担当スタッフ、バディティーチャーの3人がサポートするトリプル支援システムを導入し、多面的なサポートを行っている。定期的な個人面談、国家資格キャリアコンサルタントを保有する教員による進路指導、また独自の留学プログラムを設定するなど、幅広い観点から学生を指導し、学習・就職を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
12人 (100%)	0人 (0%)	11人 (91.7%)	1人 (8.3%)
(主な就職、業界等) 森ビルホスピタリティコーポレーション、タワーJP、ウェスティンホテル東京、(株)やる気スイッチグループ、パークハイアット東京、小田急リゾート等			
(就職指導内容) 就職対策授業、エントリーシート添削、校内企業説明会の実施、面接練習、企業実習			
(主な学修成果(資格・検定等)) TOEIC L&R、TOEIC S&W、みんなの外国語検定、English Faculty Official Test			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
31人	1人	3.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による個人面談を年2~3回実施。また、2週間ごとに全学生の出席率の状況を社内に開示し、出席率の悪い学生を担当会議で共有するとともに、担任・バディティーチャー・就職担当の三位一体のサポートを徹底し、原因や不安事項の情報を面談により速やかにキャッチしフォローに努めている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務	商業実務 専門課程	総合英語科 クルーズコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	1397 <u>単位時間</u> / 単位	1,500 <u>単位時間</u> / 単位	60 <u>単位時間</u> / 単位	120 <u>単位時間</u> / 単位	1,680 <u>単位時間</u> / 単位
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
総合英語科の総定員 40人	6人	0人	3人	12人	15人	

※教員数は、英語コース、クルーズコースの合計数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 様式2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 （概要） 様式2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 （概要） 様式2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等 （概要） 一人の学生に対し、クラス担任、就職担当スタッフ、バディティーチャーの3人がサポートするトリプル支援システムを導入し、多面的なサポートを行っている。定期的な個人面談、国家資格キャリアコンサルタントを保有する教員による進路指導、また独自の留学プログラムを設定するなど、幅広い観点から学生を指導し、学習・就職を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	6人 (85.7%)	1人 (14.3%)
（主な就職、業界等） 共立メンテナンス、ヒルトン沖縄宮古島リゾート、パーク ハイアット 東京、(株)ひとしグループ等			
（就職指導内容） 就職対策授業、エントリーシート添削、校内企業説明会の実施、面接練習、企業実習			

(主な学修成果 (資格・検定等)) TOEIC L&R、TOEIC S&W、みんなの外国語検定、English Faculty Official Test
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による個人面談を年2~3回実施。また、2週間ごとに全学生の出席率の状況を社内に開示し、出席率の悪い学生を担当会議で共有するとともに、担任・パデューティーチャー・就職担当の三位一体のサポートを徹底し、原因や不安事項の情報を面談により速やかにキャッチシフォローに努めている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	エアライン科 キャビンアテンダントコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1397 <u>単位時間</u> / 単位	1,500 <u>単位時間</u> /単位	単位時間 /単位	60 <u>単位時間</u> /単位	単位時間 /単位	120 <u>単位時間</u> /単位
		1,680 <u>単位時間</u> / 単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
エアライン科の総定員 160人	56人	2人	9人	0人	9人		

※教員数は、キャビンアテンダントコース、グランドスタッフコース、エアポートオペレーションコースの合計数

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照

学修支援等
(概要) 一人の学生に対し、クラス担任、就職担当スタッフ、バディーティーチャーの3人がサポートするトリプル支援システムを導入し、多面的なサポートを行っている。定期的な個人面談、国家資格キャリアコンサルタントを保有する教員による進路指導、また独自の留学プログラムを設定するなど、幅広い観点から学生を指導し、学習・就職を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
26人 (100%)	0人 (0%)	26人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) スカイマーク株式会社、羽田空港サービスグループ、(株)JALスカイ、JALスカイエアポート沖縄、ANAエアポートサービス(株)、防衛省・自衛隊 東京地方協力本部等			
(就職指導内容) 就職対策授業、エントリーシート添削、校内企業説明会の実施、面接練習、企業実習			
(主な学修成果(資格・検定等)) TOEIC L&R、みんなの外国語検定、手話技能検定4級、サービス介助士			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
62人	2人	3.2%
(中途退学の主な理由) 成績不良で進級不可、精神が不安定		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による個人面談を年2~3回実施。また、2週間ごとに全学生の出席率の状況を社内に開示し、出席率の悪い学生を担当会議で共有するとともに、担任・バディーティーチャー・就職担当の三位一体のサポートを徹底し、原因や不安事項の情報を面談により速やかにキャッチしフォローに努めている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	エアライン科 グランドスタッフコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1397 単位時間 / 単位	1,500 単位時間 / 単位		60 単位時間 / 単位		120 単位時間 / 単位
			1,680 単位時間 / 単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
エアライン科の総定員 160人	39人	3人	9人	0人	9人

※教員数は、キャビンアテンダントコース、グランドスタッフコース、エアポートオペレーションコースの合計数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式2号の3【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式2号の3【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式2号の3【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 一人の学生に対し、クラス担任、就職担当スタッフ、バディーティーチャーの3人がサポートするトリプル支援システムを導入し、多面的なサポートを行っている。定期的な個人面談、国家資格キャリアコンサルタントを保有する教員による進路指導、また独自の留学プログラムを設定するなど、幅広い観点から学生を指導し、学習・就職を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
33人 (100%)	0人 (0%)	33人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） ㈱JALスカイ、㈱Kグランドサービス、羽田空港サービスグループ、ANAエアポートサービス㈱、ミリアルリゾートホテルズ、タワージャパン等			
（就職指導内容） 就職対策授業、エントリーシート添削、校内企業説明会の実施、面接練習、企業実習			
（主な学修成果（資格・検定等）） TOEIC L&R、みんなの外国語検定、手話技能検定4級、サービス介助士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率

58人	1人	1.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による個人面談を年2~3回実施。また、2週間ごとに全学生の出席率の状況を社内に開示し、出席率の悪い学生を担当会議で共有するとともに、担任・バディーターチャー・就職担当の三位一体のサポートを徹底し、原因や不安事項の情報を面談により速やかにキャッチシフォローに努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	エアライン科 エアポートオペレーションコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1397 <u>単位時間</u> / 単位	1,320 <u>単位時間</u> / 単位	単位時間 / 単位	180 <u>単位時間</u> / 単位	単位時間 / 単位	180 <u>単位時間</u> / 単位
			1,680 <u>単位時間</u> / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
エアライン科の総定員 160人		25人	0人	9人	0人	9人	

※教員数は、キャビンアテンダントコース、グランドスタッフコース、エアポートオペレーションコースの合計数

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 一人の学生に対し、クラス担任、就職担当スタッフ、バディーターチャーの3人がサポートするトリプル支援システムを導入し、多面的なサポートを行っている。定期的な個人面談、国家資格キャリアコンサルタントを保有する教員による進路指導、また独自の留学プログラムを設定するなど、幅広い観点から学生を指導し、学習・就職を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
16人 (100%)	0人 (0%)	16人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) ANAエアポートサービス(株)、(株)JALグランドサービス、スイスポートジャパン(株)、 (株)ANA Cargo、(株)エコーパートナーズ、羽田空港サービスグループ等			
(就職指導内容) 就職対策授業、エントリーシート添削、校内企業説明会の実施、面接練習、企業実習			
(主な学修成果(資格・検定等)) 国際航空貨物取扱士(基礎)、みんなの外国語検定、サービス介助士			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
27人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による個人面談を年2~3回実施。また、2週間ごとに全学生の出席率の状況を社内に開示し、出席率の悪い学生を担当会議で共有するとともに、担任・パデューティーチャー・就職担当の三位一体のサポートを徹底し、原因や不安事項の情報を面談により速やかにキャッチしフォローに努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	鉄道科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1397 <u>単位時間</u> / 単位	1,170 <u>単位時間</u> / 単位	単位時間 / 単位	360 <u>単位時間</u> / 単位	単位時間 / 単位	150 <u>単位時間</u> / 単位
			1,680 <u>単位時間</u> / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		99人	0人	4人	1人	5人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) (概要)
様式2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法

(概要) 様式2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 一人の学生に対し、クラス担任、就職担当スタッフ、バディティーチャーの3人がサポートするトリプル支援システムを導入し、多面的なサポートを行っている。定期的な個人面談、国家資格キャリアコンサルタントを保有する教員による進路指導、また独自の留学プログラムを設定するなど、幅広い観点から学生を指導し、学習・就職を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
47人 (100%)	0人 (0%)	47人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) JR東日本運輸サービス、新幹線メンテナンス東海㈱、JR東日本ステーションサービス、西武鉄道㈱、京王電鉄㈱、多摩都市モノレール㈱、京浜急行電鉄等			
(就職指導内容) 就職対策授業、エントリーシート添削、校内企業説明会の実施、面接練習、企業実習			
(主な学修成果（資格・検定等）) みんなの外国語検定ブロンズ、サービス介助士、普通救命講習、手話技能検定4級			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
100人	4人	4%
(中途退学の主な理由) 進路変更、成績不良、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による個人面談を年2～3回実施。また、2週間ごとに全学生の出席率の状況を社内に開示し、出席率の悪い学生を担当会議で共有するとともに、担任・バディティーチャー・就職担当の三位一体のサポートを徹底し、原因や不安事項の情報を面談により速やかにキャッチしフォローに努めている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
観光科 観光コース	0 円	1,296,000 円	302,000 円	
観光科 クルーズコース	0 円	1,296,000 円	302,000 円	
ホテル科 ホテルコース	0 円	1,296,000 円	302,000 円	
ホテル科 クルーズコース	0 円	1,296,000 円	302,000 円	
テーマパーク科	0 円	1,296,000 円	302,000 円	
総合英語科 英語コース	0 円	1,296,000 円	302,000 円	
総合英語科 クルーズコース	0 円	1,296,000 円	302,000 円	
エアライン科 キャビンアテンダントコース	0 円	1,296,000 円	302,000 円	
エアライン科 グラウンドスタッフコース	0 円	1,296,000 円	302,000 円	
エアライン科 エアポートオペレーションコース	0 円	1,296,000 円	302,000 円	
鉄道科	0 円	1,296,000 円	302,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HP の情報公開にて公表資料として公開。(昨年度評価) (掲載 : https://trajal.jp/)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 本校の専門分野に関する企業、団体との連携体制を確保し、学校が主体的に運営する委員会として教育課程編成委員会を位置づけている。学校長直轄の委員会において、教務部が提案する教育課程編成案について審議を行い、業界や企業の知見をもってアドバイスや指摘、修正、追認を行っている。授業科目新規開設、授業内容や教育手法の改善、学修成果目標や評価方法の検討など教育の質、教職員の質向上を図ることを目的としている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
業界団体 役員	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日	業界団体
業界団体 役員	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日	業界団体

業界団体	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日	業界団体
関連企業 役員	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日	企業
関連企業	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日	企業
関連企業	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日	企業
関連企業	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日	企業
関連企業	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日	企業
関連企業	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日	企業
関連企業	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日	企業
関連企業	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日	企業
関連企業	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日	企業
関連企業	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日	企業
関連企業	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日	企業
関連企業	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日	企業
関連企業	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日	企業
関連企業	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日	企業
関連企業	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日	企業
関連企業	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日	企業
関連企業	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日	企業
関連企業	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日	企業
学校関係者評価結果の公表方法	(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HPの情報公開にて公表資料として公開。(昨年度評価) (掲載： https://trajal.jp/)	
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

学校情報は以下 HP にて公開。

<https://trajal.jp/>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H113311400111
学校名	ホスピタリティ ツーリズム専門学校
設置者名	学校法人トラベルジャーナル学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		73人	68人	74人
内 訳	第Ⅰ区分	45人	49人	
	第Ⅱ区分	15人	12人	
	第Ⅲ区分	13人	-	
家計急変による支援対象者（年間）				-
合計（年間）				75人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)		0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	-
「警告」の区分に連続して該当		0人	-
計		0人	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	前半期	後半期	
		0人	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		0人	0人
G P A等が下位4分の1		0人	-
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		-	-
計		-	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。